

# 新小谷木橋 NEWS

【Vol.8】

令和2年11月発行 編集：岩手県県南広域振興局土木部



世界遺産平泉  
PRキャラクター「ケロ平」

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

## ～小谷木橋工区の工事進捗状況をお知らせします～

一般国道397号小谷木橋工区では、架橋から60年以上が経過して老朽化が著しく、幅員が狭く車両のすれ違い困難な交通隘路となっている小谷木橋（595.3m）の架替を行っています。

新しい橋（(仮称)新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約130m上流に建設中であり、平成27年11月から下部工工事に着手し平成30年9月までに全ての下部工（橋台2基、橋脚9基）が完成しました。

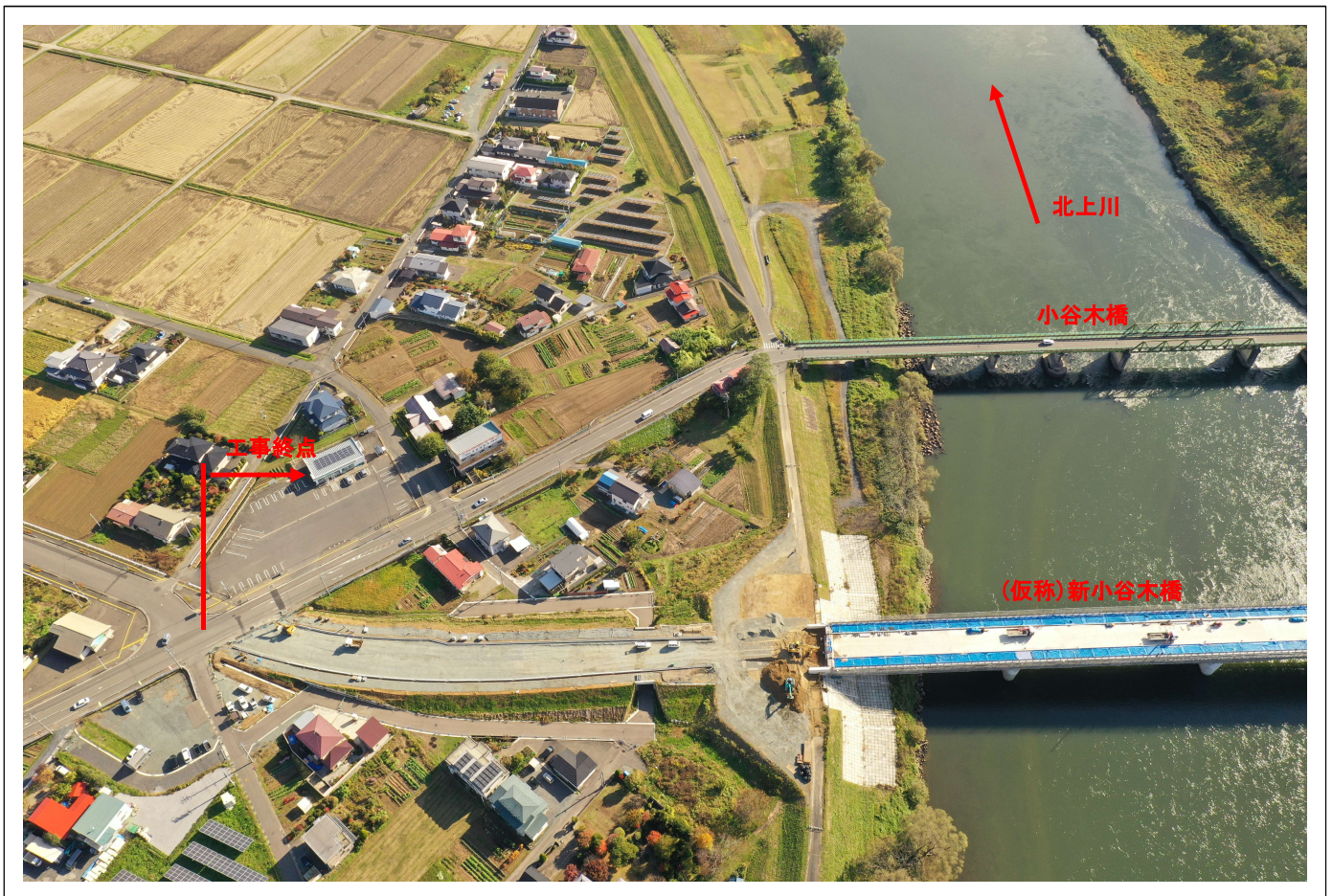
上部工工事は平成30年12月から架設工事に着手し、令和2年1月17日の桁架設作業を持って閉合（連結）しました。その後、グレーチング床版架設・床版コンクリートが令和2年7月末で完了し、現在は足場解体・橋面舗装準備・照明灯の施工を進めており、令和3年1月末には車道表層を除き完了（予定）となります。

上部工工事と並行し右岸側・左岸側の道路改良舗装工事も排水構造物・路盤工の施工を進めており、水沢東バイパスから200mは年内に完了（予定）となります。（仮称）新小谷木橋の供用開始は、早期完成に向け工事を進めてきたところでありますが、工程を精査したところ、令和3年5月（予定）となりました。また、工事中は引き続きご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

令和2年10月末撮影







～一関工業高等学校・産業技術短期大学を対象とした現場見学会を開催しました！～

小谷木橋工区では、令和2年9月23日に一関工業高等学校土木科2年生29名、令和2年10月30日に産業技術短期大学水沢校建築設備科1年生10名、2年生16名を対象とした現場見学会を開催しました。

両日ともは時折雨が降り天候に恵まれませんでしたでしたが、事業概要や橋の架設工法について説明を行い、送出し架設作業については実作業を定点撮影したタイムラプスを見ていただきました。

その他、ドローンの操作体験や工事関係者以外では初となる床版上を歩いていただき、最後に記念撮影を行いました。

生徒からは、「主桁を降下するとき、位置はずれないのか？」「現場監理をするために必要な資格は？」「ドローンの値段は？」などの質問がありました。

参加していただいた生徒の皆様には、本現場見学会を通じて建設業への理解・興味を深め、次世代の担い手となっていただくことを期待します。

一関工業高等学校の皆様



産業技術短期大学の皆様



ドローン操作体験



送出し架設の動画視聴



【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課

〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2

電話番号：0197-22-2881(内線351)

三陸復興